

Possible ⑦

7月になりました。明日から期末考査が始まります。テスト勉強をきちんと行っていますか。普段からきちんと勉強していれば、直前になって慌てることはないはずです。普段サボりがちであまり勉強していない人は、一夜漬けのような全く意味の無い勉強方法をやりがちです。一夜漬けの勉強方法は無駄なので、絶対にやらないようにして下さい。

【受験の天王山】

「天王山」の意味は「勝負や運命の分かれ目」です。「天下分け目」というような意味の代名詞として知られる表現ですが、日常生活はもちろん、ビジネスシーンやスポーツなどで、ここ一番の勝負時、勝負所という場面で使われる言葉です。「天王山」は、1582年に明智光秀と羽柴（豊臣）秀吉が行った世紀の合戦「山崎の戦」が語源となっています。この戦で舞台になったのが「天王山」で、羽柴秀吉が最終的に山を占拠し勝利、その後、天下人として名をはせることとなりました。ちなみに「天王山」は、京都府南部に実際に存在する、標高わずか270メートルの低く平たい山です。

3年次は期末考査が終わると、いよいよ受験の天王山「夏休み」を迎えます。といっても、夏休みまで待つ必要はありません。期末考査最終日の7日から、夏休みのつもりでしっかりと勉強を始めて下さい。受験は待ってくれません。1日でも早く始めましょう。

【1・2年次は、1学期の総復習を】

中間考査や期末考査の勉強で頑張っても、その後何もしなければ、どんどん忘れていき、何も記憶に残らなくなってしまう。エビングハウスの忘却曲線ってご存じですか？。知らない人は一度調べてみて下さい。暗記した内容が、日に日に忘れ去られていく様子がわかります。では、忘れないようにするにはどうしたらよいのでしょうか。これは受験勉強にも言えることですが、忘れそうになる前に復習することです。それを何度か繰り返している内に（7回くらいかな）、脳が大切な記憶として定着させるのです。定着すればなかなか忘れません。1・2年次生は、せっかく覚えた内容を忘れないように、夏休み中に1学期の内容を復習しておきましょう。英数国3科目はもちろんですが、地歴公民・理科も忘れずに行って下さい。

【7月17日は、ベネッセ記述模試】

期末考査が終わると、ベネッセ記述模試が実施されます。3年次生にとっては夏休み前の実力を測る貴重な模試となります。入試への基礎力の定着度を確認し、完成へと向かいましょう。弱点分野を中心に復習し、基礎力を固めて下さい。また、第一志望校合格へ向けて、得点戦略と対策計画を立てて下さい。2年次生は、来年度の受験を見据え、国数英の到達度を確認して下さい。高2夏までの学習範囲をしっかりと復習しましょう。また、受験を視野に入れて、目標とする大学や次回の目標を設定して下さい。1年次生は、初めてのベネッセ全国模試です。全国規模で実施されるテストの成績から、自分の補強ポイントをつかんで下さい。教科・分野ごとの補強ポイントを把握したら、必ず復習に取り組んで下さい。各年次ごとに目標は異なりますが、自分の進路実現のために頑張ってください。

【3年次】

例年であれば、多くの生徒が最後の部活動の大会に全力で臨み、いよいよ受験に向けて頑張ろうと思えるこの時期ですが、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大で、皆は練習が思うようにできなかったり、最後の試合も無観客になってしまったりと、達成感を味わいづらいまま引退を迎えた人もいたことでしょう。切り替えはできていますか？

If I had eight hours to chop down a tree, I would spend the first six hours sharpening the axe.
もし、木を切り倒すのに8時間与えられたなら、私は6時間を斧を研ぐのに費やすだろう。
－エイブラハム・リンカーン－

受験生にとって「勝負の夏」とは、期末考査が終わった翌日の7月8日（木）から夏休みが終わる8月26日（木）までの50日間を指します。この期間の頑張りが合否を左右することになります。（*部活動の引退がまだ先の人は焦るかもしれませんが、最後までやりきることがその後の人生においても、受験勉強の切り替えにおいても大切です。とはいえ、できるだけスキマ時間を作り、誘惑を感じるモノを遠ざけ、集中して勉強しましょう。）この夏のために昨年度も予行練習したスケジュール表を今年も配布するので、それを使って具体的な計画を立ててください。物事を達成するためには、綿密な計画と準備が必要です。計画と準備が正しい加減では、大きな仕事は成し遂げられません。錆びた斧では大木は切れません。どこをどのように切るか考え、よく切れるように刃をひたすら磨く。「**段取りと準備が成功の鍵**」です。受験も同様です。期末考査終了時から夏休み最終日までの計画を可能な限り具体的に立てるべきです。どのような教材を使って、どのくらいの時間を費やすのか、じっくりと考えましょう。計画が決まれば、1週間または10日単位で調整日を設け、修正を加えながら、あとはがむしゃらに突き進むだけです。

物事の達成には**段取りと準備**が重要です。そのため**計画は、じっくりと時間をかけて立てましょう。**

【 必勝計画～夏休み編 】

① 何はともあれ「8－2－8」！

1日10時間勉強するためには、午前8時、午後2時、午後8時に必ず勉強を始めることが好条件とされています。特に、午前中に4時間でできれば、しめたものです。あとは、午後4時間、夜2時間でもいいですし、午後3時間、夜3時間やれば10時間は楽々達成できます。睡眠・休憩時間も十分に確保でき、決して無茶なスケジュールではありません。**起床時間と就寝時間を決めてこれを絶対に崩さない**ことも大切です。深夜は脳の回転が遅く「勉強した気」になっているだけにならないようにしましょう。また大学合格者の多くは、冬休みの学習時間は1日12時間だったというデータもあるので、今から習慣づけておかなければなりません。

② まずは何から始めるかを考える

自分がずっと始められる勉強は何でしょうか？朝一番や昼食後すぐの勉強では複雑なことは避け、機械的に始められる、取り組みやすいことから始めましょう。漢字や単語、暗記物などが適しています。暗記物は短時間にとどめて、毎日繰り返すことが大切です。その際、声に出して覚える、鉛筆で書きながら覚える、寝る直前に覚えるのも効果的です。考え方の全く違う科目を交互にやって（英語→数学→古文→理科→英語 など）、集中力が維持できるように計画を立てましょう。

～基礎力とはどのような力？～

3年次の模試のデータによると、すべての教科において基礎力が不足しています。絶対に落としてはいけない設問を落としている人が多数います。常に発信しているように、受験で最も大切なことは、基礎力です。今年の春、東大現役合格者19名の豊島岡女子学園高校の先生は、「基礎という言葉の間違って理解しないでください。基礎の定着とは、簡単な問題が解けるということではありません。基礎の定着は、物事の本質・仕組みを捉えて、いつでも引き出せる状態になることです。大学入試は、年によって大きく傾向を変えたりしています。ですから、大学ごとの対策を立てた学習をすることも大事なのですが、それ以上に、どのように問題が変わっても対応できるコアな部分を持つことです。このコアな部分が基礎力で、その基礎力を幅広く応用できる能力こそが難関大学の入試で最も必要な力になるのです。」と以前基礎力について語っていました。

基礎力とは簡単な問題を解く力ではなく、難関大学の入試まで必要な力ということです。この基礎となる力を、この夏しっかりと身につけましょう！！

【2年次】

「生き方のSDGs」を決めよう

SDGsは、世界各国が合意している17の目標です。2030年までに実現をめざしています。一人一人の力は小さくても、継続すれば世界を大きく変えられます。



日々の勉強も同じです。社会の中で自分を生かす路をみつけ、高い志をもって努力しましょう。自分のSDGs(=続けられて、成長できる目標)を設定してものごとに取り組みましょう。

なぜ勉強を頑張るのか。それは、本気で努力することを通してさまざまな価値を知り、生き方を考え、人との絆や感謝を感じて、人間として成長できるからです。

6月10日LHRでは、下の①②を行いました。今後は毎回模試の前に行いましょう。(河合模試も「模試ナビ」で同様に)

①「合格ライン」で志望校の合格点確認

② マナビジョンで模試の目標点設定



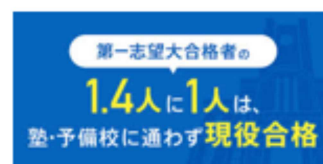
模試の後は ③自己採点 ④できなかったところの復習

この①～④を継続し、3年生になる前に確かな基礎力をつけ、苦手を克服して自信をつけましょう。

「この点数(偏差値)だからこのレベルの大学へ」という考え方はしないでください。

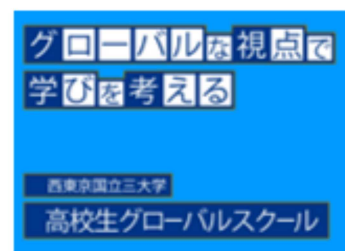
1、2年生のうちから模試を何度も受けて①～④を「前回より上!」「前回より上!」と継続することで学力は伸びていきます。飛行機が飛び立つ前に助走が必要なように、**勉強も十分な量になると、ある時から爆発的に急成長していきます。**そうすると、勉強は楽しくてたまらない。もともと勉強したいという気持ちになります。

進研ゼミ HP より



「高校生グローバルスクール」に応募しよう

東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の、文系・理系の垣根を越えた「協働」を学ぶ実践型のグローバル人材育成プログラム。『私たちは気候変動にどのように対応すべきか』がテーマです。現在、5人がエントリーしています。



今回は大会などで日程が合わないという人も、3月に春季の会が予定されていますので、エントリーしてください。

さまざまな分野の大学生と交流できて、大学の先生から指導をいただくことができる貴重な機会です。

※質問は2年次進路指導部の教員まで。

【1年次】

1学期ももうすぐ終わり、高校初めての夏休みに入ります。その前に、「期末テスト」や「進研模試総合学力テスト」が実施されます。以下の日程を意識して、計画的に対策を進めてください。

7月2日(金)～7月7日(水) 期末テスト

7月17日(土) 進研模試 総合学力テスト

(1)期末テストについて

1学期の評価が期末テストでほぼ確定します。1学期の成績が振るわなかった生徒は、2学期の土曜講習にて、「定期テスト対策」を実施する可能性がありますので注意しましょう。

(2)進研模試 総合学力テスト について

これまで高校で学習した範囲から出題されます。全国での受験者数が多い模試ですので、自分の学力がどの程度なのかを確認しましょう。教科によっては、「土曜講習」で模試対策を行っているので、模試の前にもう一度復習するようにしましょう。

他にも、進研模試をフル活用するために、「進研模試デジタルサービス」の活用をおすすめします。「進研模試デジタルサービス」の活用については、7月1日(木)LHRで案内します。

※進研模試の出題範囲について

国語：①現代文・評論 ②現代文・小説 ③古文 ④漢文 (選択問題④～⑥は④漢文選択)

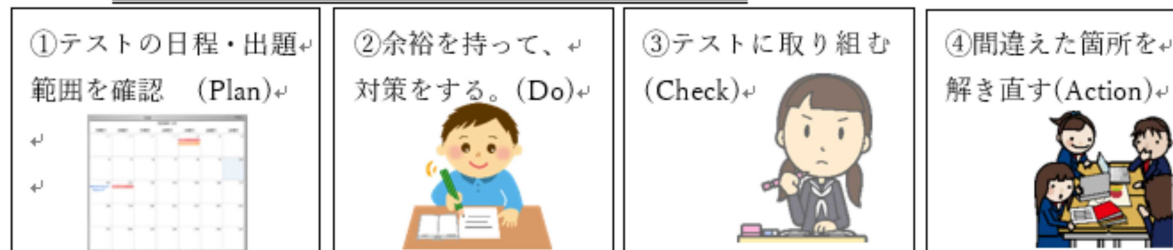
英語：①リスニング ②文法 ③長文読解 など (選択問題はリスニングを選択)

数学：①数と式(数I) ②2次関数(最大と最小)(数I) ③場合の数(順列・組合せ)(数A)

④図形の性質(空間図形は除く)(数A) (選択問題②～④は自由選択)

定期テストや模擬試験においても、朝学習と同様にPDCAサイクルを必ず回すこと。

特に、④の「解き直し」は3回必要だと言われています。



テストや模擬試験で1番大切なことは、同じミスを繰り返さないことです。(結果ではない!!)